

AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS

青山学院大学

2020年12月～2021年2月号

<https://www.aoyama.ac.jp/>



特集

青山学院大学の 進路・就職支援

Topics

2020年度 学業成績優秀者表彰

2021年4月、「物理科学科」
「数理サイエンス学科」がスタート

3Dプリンターラボ「AGU MAKES」が
機械工作室内にオープン

No.98

AGU Lecture
教育人間科学部
心理学科
繁樹江里ゼミ

今年の青山学院大学の進路・就職支援

入学と同時に始まる支援プログラムの数々。4年間を通して、学生一人一人が納得できる進路選択のサポートをしています。

今年度はコロナ禍により、進路・就職支援も全てが変わりました。緊急事態宣言でキャンパスが閉鎖された後も、いち早くメールや電話、オンラインで個別相談を実施し、ガイダンスやセミナーなど就職支援行事は全てオンライン化の対応をしました。日々刻々と変化する先の読めない状況の中、従来の方法に固執することなく、ニーズと時機を柔軟に捉えながら全学生に必要な支援をとどめることなく継続しています。



進路・就職に関するご相談はお気軽にどうぞ

コロナ禍における進路・就職支援

個別相談は随時

※下記は進路・就職支援行事の一部抜粋です。詳しくは、本学公式ウェブサイトをご覧ください。

電話・オンラインによる個別相談



事務職員の朝礼風景



オンライン相談の様子

緊急事態宣言を受けてキャンパス閉鎖後の4月8日以降も学生からの問い合わせに迅速に対応するため、電話やオンラインでの個別相談を実施しました。また専用のメールフォームも設け、学生からの質問に日々対応しました。職員は毎朝のオンラインミーティングで情報を共有し、さらに今後の効果的な支援策について検討・企画をしました。急速なデジタル化の対応は困難でしたが、オンラインだからこそできる支援の可能性も大いに実感しています。制限が徐々に解除されている後期も、三密回避などコロナ対策を整え、原則オンラインではありますが、双方向性を意識した支援を強化しています。

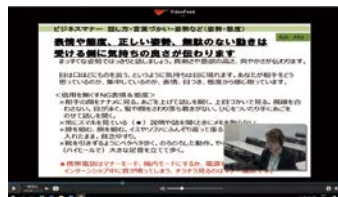
4年間を通して就職活動をバックアップします

新入生オリエンテーション



これから始まる大学生活を充実させるために、毎年入学式直後にオリエンテーションを実施しています。今後めまぐるしく変化する社会に対応していくために学生時代をどう過ごせば良いのか、学年ごとの目標を立て、卒業後にはどのような進路を選ぶのか、そのためには学生時代に何が必要かを考える機会としています。今年は入学直後には実施できなかったため、夏休み中にゆっくり視聴できるよう、前期終了までに動画配信を開始しました。

青学枠インターンシップ



学業に支障のない夏期休業期間中に、企業で最低3日以上就業体験を行うプログラムです。進路・就職センターで募集、選考、事前研修、振り返り面談までをサポートしています。インターンシップが多様化している中、可能な限り長期の就業体験を通して、職業観を育み、社会人・職業人としての資質・素養を体得し、他の学生とのグループワークを通して将来の生き方を自ら考え、選択できることを目的としています。

Uターン・Iターン地方就職志望者



首都圏ではなく、地元や地方で働きたい学生のニーズに応えて、毎年「Uターン就職ガイダンス」を実施しています。昨秋より厚生労働省の地方人材還流促進事業「LO活プロジェクト」から、定期的に専門の相談員が本学に派遣され、学生の個別相談を行っています。今年度も継続してオンラインによる個別相談、オンラインでのガイダンスを実施しています。

本学では各自治体担当者との情報交換を日頃から頻繁に行っています。

低学年企業見学&WORK、WEB仕事理解プログラム



早い段階で社会人や企業との接点を持つことを目的に、毎年1・2年生を対象に、後期に月1回のペースで企業見学会を実施してきました。毎回学生に好評のイベントで、昨年度は東京証券取引所、NHK、コーセーコスメポート、日本IBM、富士フイルム、三井不動産商業マネジメントを訪問しました。

コロナ禍で企業訪問ができなかった今年度は、富士ゼロックスのオンライン企業見学会に加え、新たに上智大学と共催で「WEB仕事理解プログラム」を2日間×4コースで実施しました。企業の紹介や社員の方との座談会、両大学の学生が一緒に行うグループワークやチームプレゼンテーションなどを盛り込んだ丸2日間のプログラムに、本学から1・2年生120人が参加し、熱心に取り組みました(参加企業：日本オラル、ベネッセコーポレーション、みずほ銀行、日本生命保険、損害保険ジャパン、朝日新聞社、アビームコンサルティング、三菱UFJ銀行)。後期はオンライン版企業見学会を実施します。

本学の進路決定率

多くの学生が、満足度の高い進路・就職先へ進んでいます。

本学では、在学生との連絡を頻繁に取り、卒業後の進路についてほぼ100%把握しています。その過程において、適宜、個別相談を実施するなど、常に学生に寄り添う支援を心がけています。その結果、本学の進路決定率は全国平均を大きく上回っており、大部分の学生が進路・就職先を得て卒業しています。

進路決定率※

91.7%

2019年度卒業生(2020年5月1日現在)

※進路決定率(%)=(就職者数+進学者数)÷全卒業生数×100

オンライン企業研究会、企業説明会

今年度は4年生を対象に、4月から毎月オンライン企業説明会を開催しています。またOB・OG訪問もできなくなった就活生のために、最終選考前の5月末に企業で働く若手卒業生の協力を得て、首都圏ばかりでなく他府県やアメリカ、ドバイともオンラインでつないで質問会を開催しました。

毎年秋には大手・主要企業100社以上をお招きし、業界・企業・仕事理解の一助となる全学年対象の学内企業研究会を実施しています。3月には就活生対象の学内企業説明会を青山・相模原の両キャンパスで実施し、年間約1,200社の企業が説明会に参加しています。今年度は、こうした大規模行事もオンラインにて開催予定です。

進路・就職センター主催各種キャリア講座



昨年度から日本航空のご協力で、「ホスピタリティ・マネジメント講座」を開講しています。今年度も低学年を対象に後期15コマを毎週開講し、新たに三菱総合研究所のご協力で「AGU Future Leaders Program」を後期8コマ開講しています。就職活動本番を迎える前の1・2年生が、企業で活躍する社会人と接することで、知識の習得ばかりでなく、自分の将来のキャリアについてじっくり考える機会となっています。

公務員・教員志望者



公務員試験対策ガイダンスのほか、面接対策セミナーなど、公務員を目指す学生のための行事を年間を通じて行っています。毎年秋には、官公庁や自治体の採用担当など約30団体が来校する「公務員業務説明会」も実施しています(今年度はオンライン実施)。また、限られた時間で確実に合格するために、本学学生限定の公務員試験対策学外講座を専門予備校と提携して開講し、予備校に通学するWスクールでも特別価格の受講料で学習できる環境を整えています。夏期・春期休業期間には、予備校の講座も無料で視聴できます。

保証人の方対象説明会

大学後援会事業として例年5月末から青山・相模原の両キャンパスにおいて、主に首都圏在住の3年生の保証人の皆さまを対象に進路・就職説明会を開催しています。また6・7月の週末に大学後援会事業として全国約20カ所で「ペアレンツウィークエンド」(地区父母懇談会)も実施しています。首都圏、地区いずれの会場でも、進路・就職を担当する本学職員が最新の就職状況をご報告するとともに、本学の充実した支援体制についてご説明しています。また、希望される方には個別相談も行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のためやむなく中止となり、その代替として3年生の保証人の皆さまを対象に、『保護者のための就活ガイドブック』を送付し、本学公式ウェブサイトに進路・就職説明会の動画配信をしています。(右のQRコードからアクセスできます。)



オリジナル冊子



オリジナル冊子として、毎年本学の支援や必要情報をコンパクトにまとめた就活手帳『Ash 青山学院大学就職活動ハンドブック』(3年生・大学院1年生対象)や、卒業後の進路を考える『Career Design Book』(新入生対象)を発行しています。今年度はコロナ禍で直接配布を中止し、それぞれ対象者全員に郵送しました。

2年生のためのキャリアガイダンス、プレ就活講座



毎年2年生の前期に「キャリアガイダンス」、後期には「プレ就活講座」を開催しています。今年の「キャリアガイダンス」ではコロナ禍でも業績が伸びている業界の紹介やwithコロナでの自分の強みの見つけ方など、昨年度から内容を大幅に刷新しました。12月の「プレ就活講座」ではアフターコロナの就職に対応できる力をつける内容で開催予定です。学業に支障なく昨今の就職活動の早期化に対応できるように、就職活動も少し早めに始めることで、学業とバランスよく就職活動ができるようになります。



小池 菜央さん 総合商社 内定

文学部 英米文学科4年
兵庫・私立須磨学園高等学校出身

自分の持ち味を生かし、仕事を通して人を支え、社会に貢献していきたいです

松井優子先生のゼミナールで、イギリス文学を研究していますが、さらに学びを深めるため、1年間休学してイギリスに留学しました。就職活動で後れを取る心配はありましたが、進路・就職センターに相談してWebでも就活対策ができることを知り、決心がつきました。帰国後に業界研究を重ね、興味を持ったのが総合商社。幅広いフィールドの事業展開が、好奇心旺盛な私には魅力的でした。また、「公認愛好団体 総合舞台芸術愛好会」でのサークル活動で、裏方を一手に引き受ける運営代表を務めた経験から、「縁の下の力持ち」が向いていると自己分析。持ち味を生かせる“支える立場の一般職”を志望しました。就活の後れも厭わず探求するために留学したことを、「強い意志がある」という自己アピールの材料にして、内定をいただきました。将来は、企業の成長にも貢献できる働き方を心がけたいです。

就職活動に関する主なスケジュール

3年 [4月] 就職ガイダンス参加 [5・6月] 就活基本講座参加 [5～11月] 青山スタンダード「インターンシップ」受講 [12月] 就職情報サイト提供のオンライン就活対策講座視聴	[1・2月] インターンシップ参加 [2月～4年 4月] 業界研究イベント・企業説明会参加 [3月～4年 4月] エントリーシート提出、Webテスト受検 [3月～4年 5月] 企業主催のオンライン座談会・オンライン説明会参加	4年 [6月] 面接
---	---	----------------------



木村 聡太郎さん 政府系機関 内定

経済学部 経済学科4年
東京・私立世田谷学園高等学校出身

留学で得た自信で、「海外で働く」という長年の夢をかなえました

海外で働くことに憧れていた私は、海外インターンシップに参加するため、ロンドンに1年間留学しました。留学中に日本貿易振興機構（JETRO）ロンドン事務所で海外インターンに挑戦し、大きな成長を自覚して帰国。ところが、留学のために就職活動のスタートは出遅れることとなりました。秋・冬のインターンシップ選考には、ほかにならず、新型コロナウイルス感染拡大の影響で想定外のことも多く、精神的につらい日々を過ごしました。ただ、留学を通して成長できたと自分を信じていたので、「就職するのは1社だけ。内定獲得の数や時期は関係ない」と気持ちを切り替えることができました。おかげで、海外交流を行う政府系機関から内定をいただき、何年後には海外駐在にも実現しそうです。いずれは現地と日本をつなぐ最前線で、それぞれの経済発展に貢献していきます。

就職活動に関する主なスケジュール

3年 [5～8月] 海外インターンシップ参加 [10月～] 自己分析開始、合同説明会参加、インターンシップ参加 [2月] OB・OG訪問開始、SPI・Webテスト対策開始 [3月～] エントリーシート対策、企業説明会参加、面接
--

猿渡 祥子さん 損害保険会社 内定

理工学部 経営システム工学科4年
東京・私立共立女子高等学校出身

諦めずにコツコツと努力し続けたことで「アクチュアリー」として働く夢がかないました

高校の授業を通じ「アクチュアリー」という職業を知りました。アクチュアリーとは数学を用いて保険のリスク予測などを行う専門職です。将来像を数字で明確化する仕事に魅力を感じた私は、アクチュアリー試験への学びを目指し、理工学部経営システム工学科に入学しました。3年生から小林和博先生の数理最適化研究室で学ぶとともに、物理・数理学科の松本裕行先生に毎週のようにアクチュアリー数学のご指導をいただき、3年生のうちにアクチュアリー試験の数学の科目に合格することができました。アクチュアリー志望者は大学院生も多いので就職は狭き門でしたが、科目合格が実績となり内定に大きくプラスになったと思います。試験勉強を続けるのが大変なときもありましたが、諦めずに努力を継続したことで夢をかなえられました。アクチュアリーの仕事の始めることが今から楽しみです。

就職活動に関する主なスケジュール

3年 [6月] 就職セミナー参加、OB・OG訪問、インターンシップエントリー [7月] インターンシップ選考 [8・9月] インターンシップ参加 [12～2月] 企業説明会・インターンシップ参加 [3月] 企業説明会参加、面接	4年 [4・5月] 面接
---	------------------------



深井 駿介さん 銀行 内定

社会情報学部 社会情報学科4年
北海道・北海道札幌月寒高等学校出身

独自の工夫でオンライン面接を乗り切り、希望していた銀行で働く予定です

以前から経済学とプログラミングに関心を持っていたため両方を学べる社会情報学部に入學。伏屋広隆先生のゼミナールで金融工学の学びを深めました。就職を考え始めた頃には注目する業種がいくつかありましたが、学生時代にはバレーボールサークルの代表として多くのメンバーをまとめ、接客のアルバイトなどを通じた対人スキルや、学んだ金融工学の知識を生かして、多くの方の生活をサポートできるのではと考え、銀行に絞りました。コロナ禍で、ほぼオンラインでの採用面接でした。当初は戸惑いもありましたが、オンライン授業で気づいた第一印象を高めるコツとして、ライトの当て方や声の大きさなどの工夫で、画面だけで判断されがちなオンライン面接でも本来の自分らしさを発揮でき、希望していた銀行への内定につながられたのではないかと思います。

就職活動に関する主なスケジュール

3年 [7月] インターンシップ参加、企業説明会参加 [9月] インターンシップ参加 [12～1月] インターンシップ参加 [1月] 企業説明会参加	4年 [4～6月] 面接
---	------------------------



2020年度 学業成績優秀者表彰

学業成績優秀者表彰は、各学部・研究科に在籍する2年生以上の学生で、前年度において学業成績が優秀と認められた者に対し表彰し、表彰盾および副賞が授与されました。

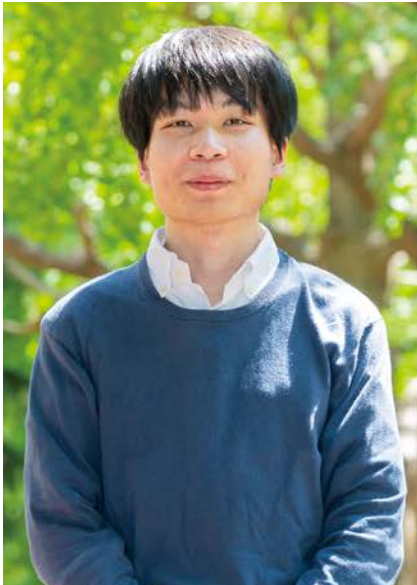
2020年度 学業成績優秀者表彰 表彰者一覧 ※敬称略

(学部)	地球社会共生学部	経営学部	コミュニティ人間科学部
最優秀賞	山田 ひより 高橋 幸智	相川 衣久乃 井手 悠介 川面 舞衣 沼田 桃子 新井 啓太 三田 帆乃佳 中澤 南美 山口 真輝 速水 一樹 齋藤 未波	齋藤 しずく 福原 麻衣 (以上 80 名)
文学部	コミュニティ人間科学部		
八木澤 里紗 藤井 雄斗 佐久間 理奈 佐藤 優佳 白田 梨穂 小池 祥子	岩下 貴史 (以上 40 名)		
教育人間科学部	優秀賞		
中村 彩芳 鶴澤 梨花 牛久保 広輝	文学部		
経済学部	内山 愛弓 金島 澄佳 根本 しずく 原田 大智 樋口 晴香 山口 あみ 阿部 桃花 岩田 明花音 大澤 実玖 堀内 誠司 WANG HE 吉松 浩子	国際政治経済学部	
北岡 志穂 平田 莉菜 佐々木 快盛 飯作 太希 臼井 聡太	経済学部	総合文化政策学部	
法学部	北岡 志穂 平田 莉菜 佐々木 快盛 飯作 太希 臼井 聡太	小長谷 萌華 田宮 彩太 大熊 蘭 堀江 遼大 津森 さくら 七星 麻里愛	
大竹 一星 渡邊 礼奈 田嶋 龍 永渡 貴也	教育人間科学部	理工学部	
経営学部	相星 朋奈 市山 文美 福西 明日香 高橋 南帆 高畑 慶子 片山 昂汰	石井 秀真 権平 航 古賀 満理奈 山田 梨紗 川崎 寛弥 渡邊 恵 小山 拓志 金子 貴昭 坂上 怜 百々 栄利花 高野 真理子 綿引 凌	
小川 望 金子 茉鈴 蓮沼 あやか 宮部 紅子 山口 一青	経済学部	社会情報学部	
国際政治経済学部	小野寺 役 遠山 拓也 渡邊 愛美 大杉 慶太 吉田 麻依子 古川 侑樹 宮脇 七海 井上 優佳 柘植 匠 水留 悠理	永木 里奈 藤枝 優香 梨田 和希 栗原 櫻希	
総合文化政策学部	山下 涼帆 中村 怜亜 石田 風太	地球社会共生学部	
赤木 佑衣 田中 二千華 戸草 尋	総合文化政策学部	法学部	
理工学部	赤木 佑衣 田中 二千華 戸草 尋	池井 小夏 榊原 実侑 小佐田 一 村田 樹咲 中瀬 遥	
山田 彬 森山 夏帆 高橋 友朗 小佐田 一 村田 樹咲 中瀬 遥	社会情報学部		
岡田 萌希 森本 千香子	岡田 萌希 森本 千香子		

小山田 芽具 中西 優里 西村 葵 松本 亜衣子	小山田 芽具 中西 優里 西村 葵 松本 亜衣子	小山田 芽具 中西 優里 西村 葵 松本 亜衣子	小山田 芽具 中西 優里 西村 葵 松本 亜衣子
久保 杏奈 小澤 美弥子 兒嶋 賢人 大芝 春歩 武内 浩輝 野田 直輝 小澤 航 豊田 朔実 吉田 篤史 乗川 大凱 大久保 建斗 西脇 颯人 尾下 幸輝 MENG XIN 和田 朱音 石黒 貴俊 佐藤 立弥 橋本 圭人	久保 杏奈 小澤 美弥子 兒嶋 賢人 大芝 春歩 武内 浩輝 野田 直輝 小澤 航 豊田 朔実 吉田 篤史 乗川 大凱 大久保 建斗 西脇 颯人 尾下 幸輝 MENG XIN 和田 朱音 石黒 貴俊 佐藤 立弥 橋本 圭人	久保 杏奈 小澤 美弥子 兒嶋 賢人 大芝 春歩 武内 浩輝 野田 直輝 小澤 航 豊田 朔実 吉田 篤史 乗川 大凱 大久保 建斗 西脇 颯人 尾下 幸輝 MENG XIN 和田 朱音 石黒 貴俊 佐藤 立弥 橋本 圭人	久保 杏奈 小澤 美弥子 兒嶋 賢人 大芝 春歩 武内 浩輝 野田 直輝 小澤 航 豊田 朔実 吉田 篤史 乗川 大凱 大久保 建斗 西脇 颯人 尾下 幸輝 MENG XIN 和田 朱音 石黒 貴俊 佐藤 立弥 橋本 圭人
福島 一希 千葉 穂乃美 川田 英果 古川 幸季 岡野 紗衣 櫻井 美紀	福島 一希 千葉 穂乃美 川田 英果 古川 幸季 岡野 紗衣 櫻井 美紀	福島 一希 千葉 穂乃美 川田 英果 古川 幸季 岡野 紗衣 櫻井 美紀	福島 一希 千葉 穂乃美 川田 英果 古川 幸季 岡野 紗衣 櫻井 美紀
中尾 彩音 増田 留衣 大岸 裕紀 酒井 佐武利 今井 波音 織田 恵	中尾 彩音 増田 留衣 大岸 裕紀 酒井 佐武利 今井 波音 織田 恵	中尾 彩音 増田 留衣 大岸 裕紀 酒井 佐武利 今井 波音 織田 恵	中尾 彩音 増田 留衣 大岸 裕紀 酒井 佐武利 今井 波音 織田 恵
赤城 花音 齋藤 くるみ 道又 麻衣 (以上 120 名)	赤城 花音 齋藤 くるみ 道又 麻衣 (以上 120 名)	赤城 花音 齋藤 くるみ 道又 麻衣 (以上 120 名)	赤城 花音 齋藤 くるみ 道又 麻衣 (以上 120 名)
(大学院)	(大学院)	(大学院)	(大学院)
最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞
文学研究科	文学研究科	文学研究科	文学研究科
上田 咲樹 市川 周佑	上田 咲樹 市川 周佑	上田 咲樹 市川 周佑	上田 咲樹 市川 周佑

田邊 正行 教育人間科学研究科 川上 萌 土屋 章子	田邊 正行 教育人間科学研究科 川上 萌 土屋 章子	田邊 正行 教育人間科学研究科 川上 萌 土屋 章子	田邊 正行 教育人間科学研究科 川上 萌 土屋 章子
JIN JING JUN WANG JIAXING	JIN JING JUN WANG JIAXING	JIN JING JUN WANG JIAXING	JIN JING JUN WANG JIAXING
法学研究科	法学研究科	法学研究科	法学研究科
武内 伊吹 塩谷 美幸	武内 伊吹 塩谷 美幸	武内 伊吹 塩谷 美幸	武内 伊吹 塩谷 美幸
経営学研究科	経営学研究科	経営学研究科	経営学研究科
周 聖涵	周 聖涵	周 聖涵	周 聖涵
国際政治経済学研究科	国際政治経済学研究科	国際政治経済学研究科	国際政治経済学研究科
CHEN ZHAOYU	CHEN ZHAOYU	CHEN ZHAOYU	CHEN ZHAOYU
渡邊 康宏	渡邊 康宏	渡邊 康宏	渡邊 康宏
CHENG AOXI	CHENG AOXI	CHENG AOXI	CHENG AOXI
総合文化政策学研究科	総合文化政策学研究科	総合文化政策学研究科	総合文化政策学研究科
山崎 康史	山崎 康史	山崎 康史	山崎 康史
理工学研究科	理工学研究科	理工学研究科	理工学研究科
斉藤 美穂 石井 哲郎 田中 健太郎 本橋 優人 鷗雄 紫織 柏崎 良太郎 栗原 光祐 宮崎 貴史 和田 拓也 小菅 祥平	斉藤 美穂 石井 哲郎 田中 健太郎 本橋 優人 鷗雄 紫織 柏崎 良太郎 栗原 光祐 宮崎 貴史 和田 拓也 小菅 祥平	斉藤 美穂 石井 哲郎 田中 健太郎 本橋 優人 鷗雄 紫織 柏崎 良太郎 栗原 光祐 宮崎 貴史 和田 拓也 小菅 祥平	斉藤 美穂 石井 哲郎 田中 健太郎 本橋 優人 鷗雄 紫織 柏崎 良太郎 栗原 光祐 宮崎 貴史 和田 拓也 小菅 祥平
社会情報学研究科	社会情報学研究科	社会情報学研究科	社会情報学研究科
佐藤 柚弥 野田 裕太	佐藤 柚弥 野田 裕太	佐藤 柚弥 野田 裕太	佐藤 柚弥 野田 裕太
国際マネジメント研究科	国際マネジメント研究科	国際マネジメント研究科	国際マネジメント研究科
ZHANG LONGWEI	ZHANG LONGWEI	ZHANG LONGWEI	ZHANG LONGWEI
LI QING	LI QING	LI QING	LI QING
LU AITING	LU AITING	LU AITING	LU AITING
飯田 智紀 清水 常平 東狐 貴一 森田 光一 四茂野 将健 渡部 学	飯田 智紀 清水 常平 東狐 貴一 森田 光一 四茂野 将健 渡部 学	飯田 智紀 清水 常平 東狐 貴一 森田 光一 四茂野 将健 渡部 学	飯田 智紀 清水 常平 東狐 貴一 森田 光一 四茂野 将健 渡部 学
会計プロフェッション研究科	会計プロフェッション研究科	会計プロフェッション研究科	会計プロフェッション研究科
久慈 瞳 荒船 雅史 HUANG YUEJUN	久慈 瞳 荒船 雅史 HUANG YUEJUN	久慈 瞳 荒船 雅史 HUANG YUEJUN	久慈 瞳 荒船 雅史 HUANG YUEJUN
保坂 桃人 (以上 39 名)	保坂 桃人 (以上 39 名)	保坂 桃人 (以上 39 名)	保坂 桃人 (以上 39 名)

2020年度 受賞者の声



最優秀賞

学びを楽しむ気持ちで、受賞につながりました

赤木 佑衣さん 総合文化政策学部 総合文化政策学科4年 埼玉・私立開智未来高等学校出身

現在、総合文化政策学部の飯笹佐代子先生のゼミナールで、アートマネジメントを中心に研究しています。企画・立案というマネジメントの立場から文化政策に関わりたくと、経営に関する分野まで幅広く目を向けています。大学で学んだことが実際に社会システムの中でどのように機能しているのか、それを知ることが授業内容を深めるためにも社会を考察するためにも不可欠だと考え、授業に関連する記事や本を読んだり、シンポジウムやイベントに積極的に参加してきました。1年間のイタリア留学では、ヨーロッパで文化・芸術団体における会計学やマネジメント論を体系的に学べて、貴重な経験となりました。今までの学びを生かし、来春からは国際文化交流に携わる仕事に就く予定です。

今回の最優秀賞の受賞は、目指していたわけではなかったので驚きました。とにかく学部での学びが大好きで、楽しみながら学んだことが受賞につながったと思います。いただいた賞に恥じないよう、「最高の卒業論文を書いて卒業しよう!」と決心しています。

最優秀賞

努力を評価していただいたことを糧に、今後も積極的な学びを

牛久保 広輝さん 教育人間科学部 心理学科3年 埼玉県立浦和高等学校出身

私は認知心理学が専門の、薬師神玲子先生のゼミナールに所属しており、心理学・言語学を中心にさまざまなことを学んでいます。これまで受けた講義の中で特に印象深かったのは、まず心理学分野で用いる実験や調査の作業体験をしながら学ぶ「心理学実験」や「心理学研究法」です。講義を通して、論理的思考力や論文の書き方が身に付きました。それから、少人数で文献を精読して対話を深める「哲学文献講読演習」も、物事の見方を広げることができて有意義でした。心理学科には柔軟な思考の学生が多く、刺激になっています。だからこそ、分からないことがあれば放置しない、その都度理解するように努力する、といった能動的な学習を心がけています。

学業成績優秀者表彰において、2019年度は優秀賞を、2020年度は最優秀賞を受賞しました。努力が報われたことは、大きな喜びです。最優秀賞は一つの通過点ですが、今後も積極的に学び、それを多くの場面で生かしていきたいです。

「新入生 Welcome Day」を開催

2020年8月31日(月)～9月4日(金)、青山・相模原の両キャンパスにて「新入生 Welcome Day」を開催し、2020年度に入学された学部生の皆さんを迎えました。

当日は新型コロナウイルス感染防止対策を十分施し、人数制限・事前申し込み制の上、希望する新入生のみが参加しました。

第一部では、大学宗教主任による礼拝の後、大学を代表して学部長より挨拶がありました。第二部では、在学生による学生生活紹介のほか、校友からのメッセージ動画が紹介されました。詳細は本学公式ウェブサイトをご確認ください。



青山キャンパスにて



相模原キャンパスにて



キャンパス自由見学(相模原キャンパス)

2021年4月、「物理科学科」「数理サイエンス学科」がスタート

理工学部では、2021年4月より、物理・数理学科を「物理科学科」「数理サイエンス学科」に改編し、より専門性の高い探究を進めています。各学科の概要は、以下の通りです。

物理科学科

入学定員 105名 2021年4月設置

物理学の範囲にとどまらず、自然科学全般やこれまで自然科学の対象にならなかった人間や社会を対象とした学問についても、最先端の物理学の手法を用いて解明していきます。本学科では、最新の物理学の理論および実験技術を習得し、さまざまな問題に対して科学的知識に基づく理解・分析を行い、その問題を解決できる能力を身に付けた人材を育成します。

学びの流れ

学びのイメージ

数理サイエンス学科

入学定員 55名 2021年4月設置

数学は、他の自然科学や工学のみならず経済学や医学などで、想像以上にさまざまな分野で応用されています。本学科では、代数学、幾何学、確率論や可積分系、数理ファイナンス、生物数学など幅広い分野をカバー。基礎から応用まで、豊富な演習を通して、論理的思考力や問題解決能力、コミュニケーション能力を身に付けた人材を育てます。

3Dプリンターラボ「AGU MAKES」が機械工作室内にオープン

理工学部附属機械工作室では、理工学部 に所属する学部生・大学院生が自由に使える3Dプリンターラボ「AGU MAKES」を設置しました。幅広い知識と高度な技術を兼ね備えた専門性に優れたスタッフが配置されています。なお、スムーズな活用をサポートするため、3Dプリンター・3D-CAD・3D-スキャナー等の利用講習会を定期的に開催していきます。詳しくは、機械工作室（TEL：042-759-6028）へ直接お問い合わせください。

設置場所 相模原キャンパスI棟 108室
開室時間 9:00～17:00（月～金曜日）、9:00～13:00（土曜日）

【機械工作室】 理工学部 に所属する学部生・院生が研究のための実験装置の設計や加工を行う際に、その加工方法や安全管理の指導を行います。



AGU MAKESを活用した学生の作品

古川信夫研究室の研究グループが新たな量子磁気現象を理論的に予言

理工学部 物理・数理学科の古川信夫教授研究室に所属する山本大輔助教、理工学研究科 理工学専攻 博士前期課程（当時）の鈴木千尋さんと岡崎翔さん、Giacomo Marmorini 研究員、古川信夫教授の研究グループは、3色の自由度を持つ量子気体を用いた人工磁性体における新たな量子磁気現象を理論的に予言し、その実現方法を提案しました。本成果は、もし電子ではなく代わりに3種類の量子的な粒子を用いて“磁石”を作成したらどのような磁気的な性質を持ち得るかを予言したもので、将来の新たな量子磁気デバイスの開発に重要な基礎的知見をもたらします。その重要性を評価され、本件に関する論文がアメリカ物理学会(American Physical Society)が発行する物理学速報誌『Physical Review Letters』に2020年7月31日（金）付で掲載されました。



※詳細は本学公式ウェブサイトをご確認ください。

春山純志研究室の研究成果がイギリスの学術誌に掲載

理工学部 電気電子工学科の春山純志教授研究室の研究成果が、イギリスの学術誌『Nature』姉妹紙の『Communications Materials』に2020年8月3日（月）付で掲載されました。原子数層からなる半導体へのレーザー光照射により、室温での二次元トポロジカル絶縁体創製に、世界で初めて成功したものです。

次世代スピン素子などへの応用には室温動作が必要不可欠ですが、これにより原子層半導体へのレーザー光照射で自在に室温トポロジカル相をパターンニングすることが可能になり、室温動作する次世代電子スピン素子・回路実現への大きな扉が開かれました。

本研究は、東京大学物性研究所 勝本信吾教授研究室、東京大学大学院 工学系研究科 機械工学専攻 丸山茂夫教授研究室、マドリード自治大学（スペイン）、オーフス大学（デンマーク）、テキサス大学（アメリカ）との共同で行われました。



※詳細は本学公式ウェブサイトをご確認ください。

坂本貴紀教授らが宇宙最強の磁石星「マグネター」に新天体を発見

理化学研究所（理研） 開拓研究本部 榎戸極限自然現象理研白眉研究チームのフー・チンピン客員研究員（京都大学 外国人特別研究員）、榎戸輝揚チームリーダー、イスタンブール大学のTolga Güver 教授、Beste Begicarslan 学部4年生、坂本貴紀教授（本学 理工学部 物理・数理学科）らの国際共同研究グループは、2020年3月に報告された新天体「Swift J1818.0-1607」が、これまでに20天体ほどしか見つかっていない中性子星の一種、宇宙で最も強い磁場を持つ「マグネター」であることを突き止めました。これは、知られているマグネターの中で最も自転が速く、高速で回転しているマグネターであることが分かりました。

本研究は、科学雑誌『The Astrophysical Journal』に2020年10月7日（水）付で掲載されました。



※詳細は本学公式ウェブサイトをご確認ください。

阿部文快研究室の論文がイギリスの科学誌に掲載

理工学部 化学・生命科学科の阿部文快教授研究室の論文が、イギリスの科学誌『Journal of Cell Science』に2020年9月9日（水）付で掲載され、「Research Highlight」に取り上げられました。

私たちの身体は重力や圧縮など力学的刺激に応答し、骨や筋肉を増強させます。こうした刺激は細胞レベルで認識され、内部にシグナルが伝達されますが、詳しい仕組みは分かっていません。

今回、阿部研究室では、250気圧（水深2,500mの深海に相当）もの高水圧が、酵母菌の細胞内にあるTOR (target of rapamycin) 複合体1（TORC1）という栄養源センサータンパク質を活性化することを世界で初めて見いだしました。

なお、本研究はAOYAMA VISION 事業計画『生命システムの動態計測と複雑系解析における革新的基盤形成』（代表・阿部 文快教授）のもとで行われたものです。



※詳細は本学公式ウェブサイトをご確認ください。

長谷川美貴教授らが高導電性酸化還元型レアアースデバイスの開発に成功

理工学部 化学・生命科学科の長谷川美貴教授らの研究グループは、北海道大学電子科学研究所のキムユナ准教授らの研究グループと共同で、光エネルギー変換特性を示すレアアース*1（RE）錯体—イオン液体*2の複合化に成功。これを用いた酸化還元*3発光応答を示すデバイスを世界に先駆けて開発し、高導電性酸化還元型レアアースデバイスの開発に成功しました。この研究成果はアメリカ化学会が発行する『ACS Applied Materials & Interfaces』に2020年9月15日（火）付で掲載されました。

- *1 レアアース…Sc、Yと15種の元素(元素記号La、Ce、Pr、Nd、Pm、Sm、Eu、Gd、Tb、Dy、Ho、Er、Tm、Yb、Lu)の総称。
- *2 イオン液体…芳香族のような性質を有する正の電荷を帯びた化学種と負の電荷を帯びた化学種により成り立つ。
- *3 酸化還元…電気的に原子の中のエレクトロンの数(原子価)を変えること。酸化は価数が正の方向に増大することで、還元は原子価が小さくなること。



※詳細は本学公式ウェブサイトをご確認ください。



青山学院大学後援会報告

決算・予算報告

大学後援会は、大学とご家庭との連絡を密にし、本学の教育・研究に必要な事業を援助するために設立された支援団体です。在学生の保証人、その他有志の会員から拠出される会費をもって、課外活動、奨学金、傷害保険への加入といった学生支援、ペアレンツウィークエンド（父母懇談会）の開催等、多岐にわたる活動を行っています。

今年度の評議員会・総会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により書面にて執り行い、2019年度決算と 2020年度予算案が承認されましたので、ご報告します。

2019年度決算では、学友会の諸活動を支援する目的として、強化指定部への援助、各クラブの機器備品購入、監督・コーチ・指導者の活動補助に充当しました。また、安心して学生生活が送れるよう、全学生に対してキャンパス内や通学中の怪我を補償する学生教育研究災害傷害保険(学研災保険)に加入するとともに、諸事情により修学が困難となった学生のための経済支援給付奨学金として一部を支援しました。教育環境整備の面では、各所温水洗浄便座設置、青山キャンパス 保健管理センター入り口の自動ドア化、相模原キャンパス G棟カフェテリアの椅子・テーブル等を整備しました。学生支援においては、オンラインで就職説明会・支援セミナーを配信するなど、学生の就職活動に対する支援を行いました。また、全国18会場で開催した保証人対象の首都圏・地区ペアレンツウィークエンドのための運営費としても使用しました。

2020年度予算は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各種イベントが中止や縮小になり支出が大幅に減額となりますが、相当額を緊急的に「新型コロナ対応費」として計上し、奨学金を中心とした経済的支援、学生の健康・安全面のサポート、学内環境の整備等に取り組んでいきます。

後援会会長 ご挨拶

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため異例の書面決議により後援会会長を仰せつかりました、浦上博史と申します。どうぞよろしくお願いいたします。後世から振り返ると今年 2020年は、歴史に残る節目の年となるでしょう。世界は今後徐々に落ち着きを取り戻していくことを期待していますが、完全に以前の世界に戻ることはないと思います。現在、社会も、行政も、生活者も、企業も、大学も、学生も、この新型コロナウイルスとの付き合い方を試行錯誤しながら懸命に模索しています。各方面で例年とは違う活動を余儀なくされていますが、これらの模索を少しずつ積み重ねて、ポストコロナの新しい時代を皆でつくりあげていかなければなりません。後援会としましても、本学で学ぶ学生の方々の試行錯誤を、微力ながら精いっぱい応援して参りたいと思っています。新しい時代に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。



浦上 博史 後援会会長

2019年度 決算

収入の部		(単位 円)
科 目	金 額	
前 期 繰 越 金	21,212,974	
会 費 収 入	176,807,000	
貸 付 金 回 収 収 入	1,000,000	
合 計	199,019,974	

支出の部

支出の部		(単位 円)
科 目	金 額	
学 生 活 動 関 係		
学 友 会 活 動 補 助	40,000,000	
学 友 会 活 動 指 導 補 助	12,780,000	
保 険 料	19,414,850	
奨 学 金 事 業 補 助	12,000,000	
大 学 行 事 補 助	1,211,762	
アドバイザー・グループ会合費補助	462,500	
教 育 環 境 整 備 補 助	40,000,000	
奨 励 金	0	
就 職 活 動 補 助	4,787,018	
ボランティア活動補助	1,870,780	
学 生 生 活 補 助	1,560,000	
後 援 会 行 事 関 係		
ペアレンツウィークエンド費	16,719,321	
旅 費 交 通 費	126,464	
会 議 費	1,156,146	
消 耗 品 費	0	
通 信 費	0	
そ の 他		
慶 弔 費	170,000	
【 予 備 費 】	0	
支 出 計	152,258,841	
次 期 繰 越 金	46,761,133	
合 計	199,019,974	

2020年度 予算

収入の部		(単位 円)
科 目	金 額	
前 期 繰 越 金	46,761,133	
会 費 収 入	179,640,000	
貸 付 金 回 収 収 入	500,000	
合 計	226,901,133	

支出の部

支出の部		(単位 円)
科 目	金 額	
学 生 活 動 関 係		
学 友 会 活 動 補 助	40,000,000	
学 友 会 活 動 指 導 補 助	15,000,000	
保 険 料	19,495,000	
奨 学 金 事 業 補 助	15,000,000	
大 学 行 事 補 助	1,000,000	
アドバイザー・グループ会合費補助	500,000	
教 育 環 境 整 備 補 助	40,000,000	
就 職 活 動 補 助	6,000,000	
ボランティア活動補助	3,000,000	
学 生 生 活 補 助	2,000,000	
後 援 会 行 事 関 係		
ペアレンツウィークエンド費	5,000,000	
旅 費 交 通 費	150,000	
会 議 費	200,000	
通 信 費	50,000	
そ の 他		
慶 弔 費	300,000	
新 型 コ ロ ナ 対 応 費	40,000,000	
【 予 備 費 】	39,206,133	
合 計	226,901,133	

問い合わせ先

庶務部庶務課 TEL：03-3409-8568

青山学院大学教育振興資金 保証人の皆さまのご支援を教育研究環境の改善につなげます。

日頃より本学の教育研究活動に関してご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年6月に募集いたしました2020年度の「青山学院大学教育振興資金」に対して、過分なるご寄付をいただきまして誠にありがとうございます。これもひとえに、同振興資金募集の趣旨をご理解いただいた上でのご支援の賜物と存じます。

ご芳名掲載対象者 **255名** ご芳名掲載者：76名 匿名：179名 ご芳名掲載対象期間：2020年4月11日から9月30日までのご寄付者

あ	相川 淳 様	大関 潮 様	こ	小池 清人 様	そ	摺谷 博志 様	ひ	肥後 学 様		山田 昌仁 様
	相澤 公 様	大竹 太郎 様		郷原 和徳 様	た	高瀬 嘉和 様	ふ	福永 容子 様	ゆ	柚木 隆志 様
	浅野 一博 様	大西 建次 様		後藤 正樹 様		滝嶋 直樹 様	ま	増田 貴嘉 様	よ	吉田 貴 様
	安藤 倫子 様	大野 裕 様		小山 貴之 様		田中 弘一 様		松井 啓朗 様	わ	渡辺 教之 様
い	井口 好弘 様	岡田 将子 様		今野 正文 様		谷 裕之 様		松下 陽子 様		渡邊 昌之 様
	石井 崇司 様	か	加来 徹也 様	さ	齋藤 孝弘 様		谷川 武士 様	も	毛利 元昭 様	
	石山 明 様		梶野宗一郎 様		坂本 篤子 様	つ	坪井 良彰 様		森 達也 様	
	市沢 紀明 様		金澤 勝 様		櫻井 節子 様	な	長井 信二 様		門田隆太郎 様	
	伊藤 一俊 様		川村 隆元 様		佐藤 光浩 様		長島 広政 様	や	山内 裕 様	
	伊藤 悟 様	き	木田 光昭 様		佐藤 吉博 様		夏井 敏正 様		山口 良 様	
	岩本 哲明 様	く	久世 暁彦 様	し	芝田 和也 様		並木光二郎 様		山崎 則枝 様	
う	内山 晃一 様		久保 将 様	す	菅 浩之 様	に	西村 元泰 様		山下 浩二 様	
お	大草 華之 様		久保田伸明 様		鈴木 敦 様	の	野村 忠彦 様		山下 雅弘 様	
	大久保正雄 様		熊倉 強 様		瀬戸谷芳治 様	は	長谷川栄一 様		山田 輝夫 様	

※ご芳名掲載の意思表示は「教育振興資金ご寄付のお願い」に同封の振込用紙にてご依頼しております。希望されない方、意思表示のない方、また、銀行のATM、インターネットバンキングを利用してご寄付され、意思確認ができない方につきましては、匿名とさせていただきます。

問い合わせ先：庶務部経理課
E-mail：agu_supporters@aoyamagakuin.jp

CLUB&CIRCLE 48 学友会本部準備委員会

「学友会」のあるべき姿を問い直し、全学生に還元できる活動を。

社会情報学部 社会情報学科4年 ^{みえだ ちち} 笛田 桃、
法学部 法学科3年 ^{こしょうじ たいせい} 小正路 大成 記

「学友会」は、学年・学部を問わず、本学に在籍するすべての学生が所属する組織です。毎年、全学生から会費を徴収して運営していますが、組織自体の認知度が低いため、学生が関わりたいと思ったときに主体的に関わることができず、予算編成にも課題がある状態でした。

2019年9月、学友会のあり方を見直し、より学生主体で活動できるような組織にするべく、「学友会あり方検討プロジェクト」が発足しました。私たちはこのプロジェクトメンバーとして活動を開始し、今年度からは「学友会本部準備委員会」としてこのプロジェクトを引き継ぎ、2021年度から学友会に学生主体の本部を設置するべく、議論を続けています。

まずは学友会の認知度向上のため、今年の夏に大学が主催した「新入生 Welcome Day（詳細はP6～P7をご確認ください）」にて、学友会の紹介を行いました。また、学友会員としての当事者意識を持ってもらうため、新入生に対して学生生活に関するアンケートを実施し、その中で挙がった意見をもとにイベントを実施（オンライン新入生歓迎会の実施や新入生交流会の企画）するなど、着々と準備を進めています。



オンラインミーティングの様子



繁樹江里准教授インタビュー

「社会心理学、対人コミュニケーション」

繁樹 江里

教育人間科学部 心理学科 准教授

心理学科は、世の中の役に立つ具体的な知恵や実践的技術を学ぶことを重視しています。コミュニケーションをテーマにしている繁樹ゼミだからこそ、ゼミ生同士のディスカッションによる相乗効果が発揮されます。他の学生の研究にも興味を持ち、視野を広げています。



ゼミ生の声

柳生 遼央さん

教育人間科学部 心理学科4年
東京都立駒場高等学校出身
(2019年度ゼミ代表)

私たちが暮らす社会の中で、「人がなぜそのような行動を取るのか、どうすればそのように行動するようになるのか」などに興味を持ち、社会心理学を学びたいと考えて繁樹ゼミを選びました。ゼミでは、身近な社会の中で感じる疑問を心理学的観点から分析し、定義付けをして理解することができ面白さがあります。

私の研究テーマは「チャットコミュニケーションにおけるスタンプ・絵文字が感情に与える影響」でした。仮説を立ててそれを検証していくのは大変でしたが、「批判、謝罪、感謝のどれを伝えるかで効果が変わる」「批判の場合は絵文字には効果があるがスタンプだと効果がない」という結果が分かっていくにつれて、興味も深まりました。

他のゼミ生たちのテーマも多様で、発表を聞いて議論したり、刺激も多いです。研究を進める上でゼミ内でのコミュニケーションが必須なので、自然と仲良くなり和気あいあいとしています。研究への真剣な取り組みと、楽しいゼミ生活が両立できるゼミです。

Lecture Items

実験や質問紙調査で得られたデータをSPSS(統計分析のソフトウェア)で分析し、仮説の検証などを行います。統計・分析は難しいですが、ソフトに使い慣れてくると、自分なりに研究を進めていけるようになります。



Q. ゼミナール(ゼミ)での研究の様子を教えてください。

基本的にはコミュニケーションに関するテーマであれば、全て研究対象とする方針です。具体的には、「絵文字・スタンプ」など特定のコミュニケーションの効果に焦点を当てたり、「友人関係と恋愛関係」や「対面とSNS」といった状況の比較をしたり、ゼミ生が興味を持った問いについて調査・実験をしていきます。

調査では、例えば友人関係における相手の行動、その関係に対する本人の評価、個人特性などをアンケートで聞き、関連を分析します。実験では、例えば「LINEでスタンプを用いる場合と用いない場合」のように、別の刺激を与えてそれぞれの人の反応を見ます。

テーマの幅が広いので、テーマが似ているゼミ生4~5人でチームを組んでもらっています。常にお互いの研究の進捗状況を発表して意見を交わすので、教室は活発なコミュニケーションの場となってにぎやかです。時には、チーム外の人にも意見や疑問をぶつけてもらうなど、新たな気づきを促すようにしています。

Q. 指導において心がけているのはどんなことですか？

まず私の役割は、ゼミ全体のスケジュール管理です。心理学の実証研究のために必要なプロセスを、1年間のスケジュールに組み込み、仮説の決定、研究方法や統計分析を指導します。また、個別の相談で、個々の研究に

関する専門知識のサポートも行います。

その中で、ゼミ生たちが最初に持った興味・関心を追求して「やりたい研究」を楽しめるようにしているつもりです。はじめは研究の方法や統計の読み取り方も分からない状態のため、かなり苦労するようですが、だからこそ成長もできます。その苦労を少しでも軽減できるよう、ジャンケンのようなゲーム性も取り入れながらチームで活動することで、どのようなことも楽しめる雰囲気づくりを意識しています。

Q. 研究を通してゼミ生たちに身に付けてほしいことは何ですか？

社会心理学の研究では、たとえば「自分のことを話すと仲良くなる」という結果を導き出しても、一般的な感覚として「それは当たり前でしょ」と思われてしまうことがあります。逆に、一般的な感覚を避けようとして複雑すぎる仮説や分析にすると、「結局よく分からない」と思われてしまう。このような「当り前の結果」と「解釈不能な結果」の間に、うまく「面白い結果」を落とし込めるようになってもらいたいです。

また、一連の研究プロセスを通じて、論理的で複眼的な思考能力を身に付けるだけでなく、チームでの活動や研究内容の発表を通して、自分一人だけでは得られない「まわりのゼミ生との相乗効果」を実感してほしいです。こうしたコミュニケーションについての学びは、社会に出てからも大いに役立ちます。

AGU NEWSについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGU NEWS」を発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。

●最新号からバックナンバーまで、本学公式ウェブサイトでご覧いただけます。

●確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、**学生本人が変更手続きをしてください。**

発行元：青山学院大学 政策・企画部 大学広報課 TEL：03-3409-8159 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-2-25

2020年11月30日発行

※本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます。本誌に掲載する人物の在籍年次や役職、所属や身分などは、原則取材時のものです。©2020青山学院大学